



—東地中海地域ニュース—

パレスチナ：ファタハ・ハマスの国民対話に向けた動き

(7月14-15日付アル・クドウス紙)

1. 7月14日付「アル・クドウス」紙は、ファタハ・ハマスの和解対話を巡るイスマイール・ハニーヤ「ハマス政権首相」の「アッラーイ」週刊紙（ガザ発行・ハマス政権の機関紙）に対し、首相職から辞任する用意があるとする発言を報じている。なお、同紙はパレスチナ高官の発言として、アッバース大統領はシャルム・エル・シェイクで開催されるNAM（非同盟運動）諸国首脳会議の機会にムバーラク大統領に対し、7月25日にカイロで開催予定のファタハ・ハマスの対話を8月4日にベツレヘムで開催予定の第6回ファタハ総会後に延期する事を要請する見通しであるが、アッザーム・アフマド PLC ファタハ会派長はこれを否定したと報じている。

(1) 国民対話を巡るハニーヤ「ハマス政権首相」の発言等（14日付、アル・クドウス紙）

- ①国民対話は、パレスチナ内部の相違を克服する唯一の道であり、現在の分裂状態を終焉させる方途であることから、ハマスは初回の対話から、その成功のために最大限の努力を払ってきた。
- ②しかし、この対話を巡っては2つの問題があり、一つは外部の立場に左右され、国際的な圧力に晒されていることである。もう一つは、ファタハ側が問題解決へ向けた出発点として、西岸とガザの分裂を終焉させるのではなく、ガザに問題があり、2007年の出来事が問題であると捉え、ガザの奪還を欲している事である。
- ③ハマスとファタハは、一つの船に乗り、パレスチナという同じ土地に根差している。双方の敵は共通しており、抵抗を共にし、諸権利の回復と国家樹立のために行動している。（両者間の問題の）解決は対話と双方の異なる綱領の併存以外になく、ファタハに対して、抵抗及び祖国解放の運動として勃興した原則・基礎を遵守し、（ハマス）と一致した立場に至るよう呼びかける。
- ④自分（ハニーヤ「首相」）は、ファタハとの国民的和解を達成するのに資するのであれば首相職から辞職する用意がある。

2. 15日付同紙でも18日にカイロでファタハ・ハマスの国民和解に関する次回対話の準備会合が行われると報じている。概要は以下の通り。

(1) ファウジー・バルフォーム・ハマス報道官の14日付発言

- ①ハマスはエジプトから、政治犯の問題について協議するため、18日のカイロにおけるファタハ代表団との評価会合に参加するよう招待を受けた。
- ②来る会合は、ファタハ・ハマスの対話をはじめとする次回国民対話の準備会合として、これまでの対話を通じた合意事項を踏まえ、政治犯の問題に焦点を当てつつ、その他の問題について合意に至るため、エジプト側が調整しているものである。

③来る会合は、7月25日にカイロで開催予定の次回国民対話へ向けた環境を醸成することを目指しており、エジプト治安代表団のダマスカス・ラマッラー訪問の結果について報告される予定である。

(2) マフムード・ザッハール・ハマス政治局員の発言

- ①第6回対話会合は、和解、PLO、治安、選挙、政府に代わる合同委員会設置の5分野において、ハマス側が満足する事なく終わった。
- ②（対話における）現下の諸問題は、選挙法改正、合同治安委員会、合同治安部隊であり、対話は最終局面に入りつつあるが、これらの問題が合意達成に至る大きな障害となってきた。
- ③選挙法改正については、ハマスは当初、比例代表制50%、選挙区制50%の議席配分という立場にあったが、比例代表制60%、選挙区制40%の割合に既に合意しており、これ以上の譲歩はできない。
- ④ハマスは、7月25日の次回対話にコミットしているが、ファタハはこれらを遅らせようとしている。

(3) アッザーム・アハマド PLC ファタハ派会長の発言

第6回ファタハ総会の開催を理由として、アッバース大統領が次回対話の延期を意図しているというのは正しくない。

【補足情報】

第6回ファタハ総会関連報道（2009年2月-7月）

- 2009-02-05 アル・クドゥス紙は、ファタハ総会第6回ファタハ総会の開催日が3月21日に特定されたと報道。3-4日にアンマンで開催された準備委員会会合で決定。議長は、中央委員会メンバーのアブ・マーヘル・グネイム。開催場所は2月16日に革命評議会、中央委員会の会合で決定されるが、アンマンかカイロになると報道された。
- 2009-02-17 ラマラで開催されたファタハ革命評議会（中央委員を含む135人で構成）は、4月15日までに第6回ファタハ総会を開催するとした準備委員会決定に同意した（前回の報道では3月21日までとされた）。革命評議会は、準備委員会にエジプトかヨルダンでの開催検討を指示した。ガザのファタハ・メンバーの参加を考慮。
- 2009-05-10 パレスチナのアッバース PA 議長は、第6回ファタハ総会の準備委員会の活動を終了した。同委員会において、総会出席者数を巡る意見の相違が大きかったため。

- 2009-05-11 パレスチナのマアン通信は、アッバース PA 議長が 6 月に第 6 回ファタハ総会をパレスチナ領のジェリコかベツレヘムにて開催すると述べたと報じた。同大統領は、総会の参加者数として 600 名、800 名もしくは 1,200 名になる可能性を提示した。
- 2009-05-13 ファタハの第 6 回総会準備委員会は、声明を出し、同総会の開催について論じるためにファタハ中央委員会の会合を 6 月の始めに開催するよう求めた。また、同声明において同委員会は、総会がパレスチナ領の外で 1,550 名が出席して開催されると述べた。アッバース PA 議長は、11 日、パレスチナ領内で総会を開催するとしていた。
- 2009-06-14 ファタハ高官は、11 日より中央委員会の会合を開催していたアンマンで記者団に対し、中央委員会が 8 月 4 日にパレスチナ自治区でファタハの第 6 回総会を開催することを決定したと述べた。ただし、総会が開催されるのはガザではなく西岸とした。別のファタハ筋は、中央委員会では開催日時での合意はなかったと述べた。同中央委員会には、第 5 回（1989 年）ファタハ総会で選出された 21 人の内 15 人が参加。6 人は、死亡。
- 2009-06-25 ラマラで開催されていたファタハ革命評議会の第 37 回会合で 8 月 4 日にベツレヘムで第 6 回ファタハ総会を開催することが合意された。イスラエルは、自治区外から 500 名以上の、また、ガザから 400 名以上の関係者の参加を許可した。
- 2009-07-13 ファタハは、8 月 4 日に開催される第 6 回総会で武装活動という選択肢を破棄することはないとした。

---

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799